

袋井市教育委員会 会議録（要旨）

会 議 名	平成30年 6 月 袋井市教育委員会 定例会
招集日時	平成30年 6 月27日（水）午後 1 時30分
会議時間	午後 1 時30分から午後 3 時45分まで（2 時間15分）
場 所	袋井市役所 3 0 2 会議室
出 席 者	鈴木典夫 教育長 前嶋康枝 委員 上原富夫 委員 豊田君子 委員 大谷純應 委員 (計：5 人)
欠 席 者	無し
傍 聴 者	無し
当局出席者	伊藤秀志 教育部長 大庭尚文 教育企画課幼小中一貫教育推進室長 川村佳典 おいしい給食課長 乗松里好 すこやか子ども課長（午後 2 時45分まで出席） 伊藤千ひろ すこやか子ども課子ども保育係長 （午後 2 時45分から出席） 加藤邦夫 育ちの森所長 平野邦孝 学校教育課長 杉山明子 生涯学習課長 山本義孝 歴史文化館長 野村浩二 袋井図書館長 荻原規代 教育企画課教育総務係長 (計：11人) (合計：16人)
会議に付した 事件	別紙「平成30年 6 月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」の とおり

平成 30 年 6 月 袋井市教育委員会定例会 日程

日時：平成 30 年 6 月 27 日（水）
午後 1 時 30 分開会
場所：袋井市役所 302 会議室

会 議 日 程

日程第 1 開 会

日程第 2 会議録署名委員の指名

日程第 3 会議録の承認

日程第 4 教育長報告

日程第 5 教育部月例事業報告

日程第 6 議 事（会議に付すべき事件）

（1）協議事項

- 協議 41 号 平成 29 年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価
について
- 協第 42 号 忠霊塔及び戦役記念碑の撤去に伴う浅羽西幼稚園敷地拡張について
- 協第 43 号 袋井市立小中学校学校運営協議会委員の解嘱又は委嘱について

（2）報告事項

- 報第 55 号 平成 30 年度 「袋井の教育」について
- 報第 56 号 袋井市教育 3 R プロジェクト策定委員会・部会の設置について
- 報第 57 号 寄附品「ラグビーボール」等の受納について
- 報第 58 号 平成 29 年度学校給食費の収納状況について
- 報第 59 号 寄附金の受納について
- 報第 60 号 平成 29 年度幼稚園・保育所保育料の収納状況について
- 報第 61 号 平成 30 年度袋井市教育委員会学校巡回訪問について
- 報第 62 号 袋井市いじめ問題対策連絡協議会委員の解嘱・解任又は委嘱・任命につ
いて
- 報第 63 号 夏季休業中における学校閉庁日について
- 報第 64 号 青少年の非行・被害防止強調月間の取組について
- 報第 65 号 山梨祇園祭祭典補導の実施について

日程第 7 その他

(1) 連絡事項

- ア 「富士浅間宮本殿保存修理工事現場見学会」について
- イ 「富士浅間宮修理記念展示会 袋井の文化財指定建造物展」について
- ウ 「浅羽佐喜太郎公碑建立 100 年特別展」について
- エ 袋井市立図書館だより「ふくぶっく」平成 30 年 7 月号

(2) 次回定例会等の予定について

- | | | | |
|-------------|--------------|--------------|---------------------|
| 7 月教育委員会臨時会 | 7 月 12 日 (木) | 午後 1 時 30 分～ | 市役所 302 会議室 |
| 7 月教育委員会定例会 | 7 月 27 日 (金) | 午後 1 時 30 分～ | 山名コミュニティセンター 201 会議 |

(3) その他

日程第 8 閉 会

(午後 3 時 45 分閉会)

平成 30 年 6 月 袋井市教育委員会定例会 会議録（要旨）

1 開会

●鈴木教育長

ただ今から、平成 30 年 6 月袋井市教育委員会定例会を開会いたします。
本日は、教育企画課長の代理として、大庭室長が出席しております。
議事がスムーズに進行できますよう、ご協力をお願いいたします。

2 会議録署名委員の指名

●鈴木教育長

袋井市教育委員会会議規則第 16 条第 2 項の規定に基づき、豊田委員 及び 大谷委員 を指名いたします。

3 会議録の承認

●鈴木教育長

平成 30 年 5 月袋井市教育委員会定例会会議録について、承認を得ました。

4 教育長の報告

●主な報告事項

- ・学習指導研究協議会 (5月31日)
- ・思考ツール活用研修会 (6月6日)
- ・NPO 法人 ふぁみりあネット 合同研修会 (6月19日)
- ・管理主事訪問 (6月21日～)

その他は資料のとおり

5 教育部月例事業報告

●教育企画課

- ・広報ふくろい6月号「袋井市幼小中一貫教育について」
- ・浅羽中学校校舎改築等プロポ第1回選定委員会 (6月26日)

●学校教育課

- ・思考ツール活用研修会 (6月6日)
- ・QU活用研修会 (6月14日)
- ・袋井中学校区第1回幼小中一貫教育協議会全体研修会 (6月13日)
- ・授業改善推進校研修会 (6月11日ほか)

- すこやか子ども課
 - ・笠原児童館運営協議会 (5月30日)
 - ・放課後児童クラブ指導員研修教育長講話 (6月19日)
 - ・袋井市子育て支援拠点施設運営協議会 (7月12日)
- 育ちの森
 - ・第1回子ども支援研修会 (6月22日)
 - ・第1回子ども早期療育支援センター運営協議会 (7月26日)
- 生涯学習課
 - ・青少年育成活動研修会 (5月30日)
 - ・第1回家庭教育学級リーダー研修会 (6月20日)
 - ・青少年非行防止街頭キャンペーン (7月2日)
 - ・次世代リーダー育成塾(基調講座) (7月21日)
- 袋井図書館
 - ・一般社団法人勸農報徳社からの寄附金受領 (6月19日)
- 教育部長
 - ・6月市議会一般質問についての報告

[質疑・意見]

なし

6 議事

【協議事項】

(1)協第41号 平成29年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

《説明者：教育企画課教育総務係長》

●教育企画課

本件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、平成29年度の本市教育委員会が行った事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、市議会に報告するとともに市民に公表するもの。

昨年度の点検評価との変更点は、教育大綱及び袋井の教育に沿った項目での評価となるよう構成を変更し、より分かり易い点検評価となるよう見直しをしたことと、各課の事業については市の総合計画と重複しているため、重点施策の指標と実績値のみの掲載としたこと。

なお、本件に係る学識経験者の知見の活用については、今年度、静岡大学教育学部 鈴木秀志特任教授にアドバイザーとしてこの後、御意見をいただく予定。これを受けて点検評価の報告書を完成していくものです。詳細は資料のとおり。

●鈴木教育長

毎年、少しずつ改善を加えており、P.8はP.9～11（1教育委員会の活動）の総括で、P.12（2教育委員会が管理・執行する事務）は執行事務の羅列、P.13は（3私が委任を受けた事務）で重点施策に対しての指標について、数値目標と実績を掲載し、総合的な評価は今後、報告をしていくものです。

[質疑・意見]

なし

●鈴木教育長

本案は、原案のとおり承認いたします。

(2) 協第42号 忠霊塔及び戦役記念碑の撤去に伴う浅羽西幼稚園敷地拡張について

《説明者：すこやか子ども課長》

●すこやか子ども課長

本件は、浅羽西幼稚園に隣接している忠霊塔及び戦役記念碑の撤去に伴い、現在、市の普通財産となっている当該用地を行政財産へ移管手続きし、教育活動の効率化を図るため、用地を利活用して屋外倉庫（旧笠原保育所の倉庫を移転）の設置及び駐車場の整備を行うなど浅羽西幼稚園の敷地を拡張し有効活用するものです。詳細は資料のとおり。

[質疑・意見]

●豊田委員

撤去後の写真を見ると周りに何もなく、今後フェンスなど外部からの侵入への対応はいかがですか。

●すこやか子ども課長

撤去のために植囲いを外しましたが、今後、駐車場の整備予定もあり防犯対策等対応していきます。

遊戯室からは外の様子が見える状況であり、当該場所は園の敷地の一部であって、現況復帰をしたものが撤去後の写真である。

●前嶋委員

石塔の高さはどの位でしたか。危険性はどうでしたか。

●鈴木教育長

高さは結構ありましたね。

●すこやか子ども課長

石塔の周りに囲いがありましたが、入れない状況ではなかった。

●鈴木教育長

協第43号について承認いたしますがいかがでしょうか。

[質疑・意見]

なし

●鈴木教育長

本案は、原案のとおり承認いたします。

(3) 協第 43 号 袋井市立小中学校学校運営協議会委員の解嘱又は委嘱について
《説明者：学校教育課長》

●学校教育課長

本件は、学校運営協議会委員について、今井小学校において地域住民代表の選出区分からの選出者の辞退の申し出に伴い5月31日付けで解嘱し、新たに地域住民代表の選出区分からの選出者を6月1日付けで委嘱としたいので協議します。

●鈴木教育長

学校運営協議会委員は教育委員会の任命となります。

協第 43 号について承認いたしますがいかがでしょうか。

[質疑・意見]

なし

●鈴木教育長

本案は、原案のとおり承認いたします。

協議事項は以上となります。

【報告事項】

(1) 報第 55 号 平成 30 年度 「袋井の教育」について

●教育企画課幼小中一貫教育推進室長

本件は、平成 30 年度「袋井の教育」について、4 月定例会に協議案件として提出し、いただいた意見により「袋井の教育」の方向性の文章や表紙等へ社会教育も含めた教育の理念などの内容や写真についても掲載し編集したものです。詳細は資料のとおり。

●鈴木教育長

巻頭言について昨年度は幼小中一貫に関するもので、今年度は生涯学習を含めた全般的なものとなりました。

若干、作成のスケジュールについて議論があったので紹介します。

●伊藤教育部長

局議において、「袋井の教育」を作成していく中で、年度当初に園や学校から「学校（園）経営計画書」が提出される前に、予め3月末に「袋井の教育」の理念を示したい。資料につい

ては、新年度になってからでよいが、ダイジェスト版として骨格のものを早く配付するように2段階での作成とするよう今年度末には取り組む方向で進めていきたい。

●鈴木教育長

来年度の方向性としては、起動性を持たせたい。その為には、最初に薄いものでもよいので、年度末までに各学校の方針が立つ前に示したい。お気づきの点がありましたら、来年度に向けて見直していくこととします。

[質疑・意見]

なし

(2) 報第56号 袋井市教育3Rプロジェクト策定委員会・部会の設置について

●教育企画課幼小中一貫教育推進室長

本件は、現在策定中の「袋井市教育施設等3Rプロジェクト」について、今後、教育施設等の整備の計画を検討するにあたり、財政との調整が必要不可欠であるため、関係各課との横断的な調整や情報共有を図ることを目的に策定委員会・部会を設置するものです。

3Rについては整備をしていくうえの視点としてリペア、リニューアル、リデュースの頭文字のRをとって3Rプロジェクトとし、基本的な考え方については、昨年11月の教育委員会定例会に報告済で、現在、整備計画の策定に向け検討を進めていくところです。

策定委員会、策定部会の設置については、策定委員会が関係各課の課長で構成し、委員長を教育部長が務め、整備計画の方針について意見を集約していくものです。

策定部会は関係各課の係長で構成し、部長を教育企画課長が務め、計画の詳細な調整や協議を柔軟に行うものです。

整備計画については今年度の3月末までに策定の予定であり、委員、部員には6月1日から策定までの期間務めていただきます。詳細は資料のとおり。

[質疑・意見]

●鈴木教育長

3R（リペア、リデュース、リニューアル）の意味は日本語ではどうでしたか。

●伊藤教育部長

リペアが長寿命化で修繕しながら長寿命化を進めていく。リデュースが削減で配置や規模を人口減少社会にあわせて削減していく。リニューアルは機能水準の更新でICTなど新たな水準に対応していくという意味になります。

●鈴木教育長

教育施設というと幼小中ですか。

●伊藤教育部長

幼小中のほかコミュニティセンター（今まで公民館）や図書館、月見の里、メロプラザなども含めた計画となっています。

●上原委員

策定委員会のメンバーの関係各課は教育委員会の中のみですか。

●伊藤教育部長

例えば7番目の協働まちづくり課は、コミュニティセンターの所管課、支所長兼市民サービス課長はメロープラザを所管しています。教育委員会が最も多くの施設を所管しているため教育委員会内の課長が中心となります。また、予算執行を伴うため財政課長をメンバーに加え、財政計画とも整合性を図っていきます。

●上原委員

3Rというのは、ごみの処理の時に使うことばですが、教育施設とは言っても様々なインフラ整備も関係するため、水道課長や防災の担当課長にも参加していただくなど柔軟性も必要では。

●教育企画課幼小中一貫教育推進室長

資料の概要(1)構成・役割の欄に補足してあり、必要に応じ部員以外の関係職員の招集も可能としています。

●伊藤教育部長

所管する範囲は、教育施設等に限定してきます。教育施設等については、今回、このメンバーで今年度内に作り上げていきます。

●上原委員

3Rプロジェクトの根本的な必要性は何ですか。

●伊藤教育部長

学校の校舎等が高度経済成長期に整備されて40～50年経過し、大規模修繕や建替などの対応をしてきたが、昨今では人口減となり、このままでは、袋井市の財政が困難な状況となるため、道路も今ある道路の質を高くするなどし予算を7割程度に抑えている。

袋井市が持っている全体の都市基盤と箱ものをどうしようかということで、平成28年6月に公共施設等総合管理計画が作られ、これに基づき道路等のマネジメント計画が策定されているが、教育施設のリニューアル等の計画については、今年度末までに策定し、計画的に修繕、改築、新設の方向性をオーソライズしていく必要性から今回作り上げていくものです。

●上原委員

オーソライズする前に袋井市の財政を主とした長期計画の下請け的な分科会のような意味合いの方が強いのですか。

●伊藤教育部長

下請け的ではなく、各所管ごとに事業に必要な予算額や改修等が必要な時期等を示し、その積み上げにより財源(国庫補助等)も含めた所管全体を把握し、市全体の財政等と並行して行うため財政課長も加わり行うものです。

●上原委員

教育委員会で統括して行っていくとのことですが、他の部門で似たような組織を作っていますか。

●伊藤教育部長

他部門の計画は出来上がっているところが殆どです。平成28年6月に公共施設等総合管理計画が作られ、これに基づき各所管ごとの個別計画は昨年度末には策定済となっています。

道路や橋などは、地域との話し合いの結果、橋自体をやめてしまい、このやめる分の予算でリニューアルする橋などもあります。

●上原委員

教育委員会の場合は他部門と異なり、物ではなく人をつくる部門ですから、本来ではないと思います。最終的に袋井の教育はどうするのかを固めて行かないと細かくなったり抜け落ちる心配があります。

3Rのネーミングからも何をやろうとしていくのかが見えない状況にあります。

●伊藤教育部長

教育理念等を作るのではなく、公共施設等総合管理計画で定めるインフラと箱ものの内教育施設の修繕や建替のサイクルをどのように考えていくかと話し合うものです。

市の公共施設マネジメント計画を教育部門では袋井市教育施設等3Rプロジェクトの名称で計画の策定を進めて行くもので、昨年11月の民生文教委員会に報告をし、今年度進めて行くにあたり部会のメンバーを決めたところです。

●上原委員

そうであれば3Rのリデュースという言葉から想像する幼稚園や学校の数の削減なども議題となるということですか。

●伊藤教育部長

やがては考えていかなければならないことです。上位計画の総合管理計画では3つの柱があり1つは長寿命化（長く使うための方策を考える）、2つめはランニングコスト（少しでも節約）3つめは総量の適正化（人口やニーズに鑑み減らすのか増やすのか）となり、このような視点で議論していくこととなります。

●大谷委員

確かに建物はランニングコストが掛かります。南幼稚園や高南幼稚園、南保育所の件も議論があったことと思いますが、今後、他の園や学校でも考えられるため組織だてて進めて行く必要がありますね。今後、計画策定が進むと我々に諮問となるのですね。

●上原委員

袋井の教育の将来を見据えた中で大きな流れ（ある一定の方向性）を深く考えて示すため、また、平行して個別事案として浅中をどのように建替をしたらいいとか極めて具体的な間近な問題の両方をやっていくということですね。

●伊藤教育部長

計画の更新時には少しずつ修正をしますが、大きな流れの中で今考えられる方向性を指し示

す必要性があるため、こういった計画を策定するものです。

●鈴木教育長

上原委員がおっしゃりたい事はよくわかります。市の大本の計画が示されていないなかったため施設一体型か分離型で幼小中一環教育の基本方針が一年遅くなったことがありました。

磐田市では30年後に全て施設一体型とする旨市長が明言し、10年間は統廃合しない前提で施設分離型の幼小中一貫教育を進めていくこととし、前に進めたようです。

袋井市の今の進め方は、20年後、30年後の大方針を市長が掲げ、それに向け全ての計画を修練していくというやり方をしていないので、教育部門においては、幼小中一環教育は10年間は統廃合しないとしているため、修理をしていくしかない。この計画は10年後をイメージして策定していく。10年後の市の方針は示されていないので、個別計画を持ち寄り考えて行くのが全体の流れと方向性です。

委員会や部会のメンバーは概ね教育委員会の課長や教育委員会のメンバーが中心なので、教育の方向性や方針を反映させていく主たる会となります。上位計画は大まかであるので、3年計画や5年計画の中で具体的に進めていき、よるべきところのこの計画が必要であろうと私は理解しています。

ただ既に安全性や耐震性など全て調査し、大規模改修や建替など議論する基礎データは教育委員会として持っています。

●前嶋委員

先搬の地震でのブロック塀の事故のように損害賠償とならないように常に先に手を打つ事をしないと流れに沿えないのではないかと感じます。

年度当初に大きな修繕箇所はないかと調査があるが真摯に受け止めてやるべき事をやっていると大きな改善にまでもっていけないのかなと思いました。

●伊藤教育部長

予防修繕の予算というのは今まで計上されていなかったが、昨年度から事業課の新設予算を削り予防修繕の予算を計上することができることとなった。今後は安全性の観点から壊れたら直すのではなく壊れる前にしっかり予防保全していくことに予算計上が変わってきたことを確認しました。

●鈴木教育長

いろいろご意見ありがとうございました。では、次に進めさせていただきます。

(3) 報第57号 寄附品「ラグビーボール」等の受納について

●教育企画課幼小中一貫教育推進室長

株式会社大王及び株式会社清水銀行袋井支店から市内小中学校にラグビーボール等の寄附がありましたので報告します。詳細は資料のとおり。

●鈴木教育長

若干補足させていただくと清水銀行袋井支店が社債発行企業の株式会社大王と返済手数料の2%を寄附するというもので、社会的貢献の事例です。

(4) 報第 58 号 平成 29 年度学校給食費の収納状況について

●おいしい給食課長

本件は、平成 29 年度の学校給食費の保護者負担分の収納状況について報告するものです。
詳細は資料のとおり。

(5) 報第 59 号 寄附金の受納について

●すこやか子ども課子ども保育係長

本件は、医療法人社団MF C 溝口ファミリークリニックから、浅羽中学校及び浅羽中学校区の小学校、公立幼稚園等に対して図書等購入費として、20 万円の寄附金をいただいたものです。
詳細は資料のとおり。

(6) 報第 60 号 平成 29 年度幼稚園・保育所保育料の収納状況について

●すこやか子ども課子ども保育係長

本件は、平成 29 年度の幼稚園・保育所保育料の収納状況について報告するものです。
詳細は資料のとおり。

[質疑・意見]

●大谷委員

1 軒のお宅でも金額が大きいですね。払っていただかないと凄い額になってしまいますね。

●すこやか子ども課子ども保育係長

そうですね。児童手当からの充当や毎月分割の依頼などしていますが、保育料は単価が大きいので溜めてしまうと雪だるま式になってしまうので丁寧に相談し対応しています。

●前島委員

給食費の未納の方も保育料の方も関係関係がありますか。

●伊藤教育部長

市役所の中では税務課が中心となり収納対策の委員会を立ち上げちる。税金や給食費、保育料、市営住宅家賃などの担当課が集まり、滞納状況を名寄せしている。納めていただいた金額の充当先では、市税が優先で順番では給食費や保育料は後の方となってしまうがちである。

幼稚園や保育所の保育料は時効がありますが、給食費は市が債権放棄をしない限り残ってしまい、実際訪問した生活実態調査などから今後の対応について委員会に諮っていくものです。

また、今後、保育料の無償化が始まっていくとより納めていただきにくくなるのが懸念されます。

●前島委員

私立の幼稚園やこども園では滞納はあるのですか。

●伊藤教育部長

市同様にあると思います。

私立幼稚園では、滞納に伴う措置として退園が考えられるが、保育所は制度上、退園はできない。

●鈴木教育長

様々な家庭の事情がある中で税負担の公平性があるので、厳しい仕事ではあるが担当には引き続きお願いします。

(7) 報第 61 号 平成 30 年度袋井市教育委員会学校巡回訪問について

●学校教育課長

本年度の学校巡回、学校訪問の日程です。学校巡回のほうには、教育委員の皆さんにも別途御案内しておりますのでよろしくお願いいたします。

(8) 報第 62 号 袋井市いじめ問題対策連絡協議会委員の解嘱・解任又は委嘱・任命について

●学校教育課長

4月の教育委員会定例会で提案をさせていただきましたが、あて職の部分が決まっておらず今回、正式に決まりましたので報告するものです。詳細は資料のとおり。

●鈴木教育長

これはいじめ問題対策連絡協議会で定例で年1回開催のものです。

また、いじめ問題対策専門委員会は事例が生じた時に随時、開催するものです。

(9) 報第 63 号 夏季休業中における学校閉庁日について

●学校教育課長

国の教職員の働き方改革に関する中央審議会にて答申としてだされたうち、長期休業中の教職員の働き方について、休みが取れる配慮をすることとしてあり、今年度、初めて夏季休業中の8月13日、14日を閉庁日としますので報告します。日程その他は資料のとおり。

すること

[質疑・意見]

●上原委員

年時給有給休暇を取得済で残がない方はどうしますか。

●学校教育課長

確認した結果、殆どが30日以上年次有給休暇の残があります。また残がなくなった場合本人が休暇を取得しないことも考えられます。

●鈴木教育長

夏季休暇でも年休でもいいと思います。講師についても休暇取得が可能であり、校長も支障ないとしています。

●学校教育課長

静岡市以西の全市町で夏季休業時の学校閉庁日を設けることとしています。

(10) 報第 64 号 青少年の非行・被害防止強調月間の取組について

●生涯学習課長

国では7月が全国一斉の青少年の非行・被害防止強調月間ということで、街頭キャンペーンなどを実施します。詳細は資料のとおり。

(11) 報第 65 号 山梨祇園祭祭典補導の実施について

●生涯学習課長

7月14日、15日の2日間、山梨祇園祭祭典時における市内の青少年の動向を把握するとともに祭典主催者、地区及び学校、警察と連携して問題行動を未然に防ぐなど補導活動を実施します。詳細は資料のとおり。

(12) 報第 66 号 一般社団法人勸農報徳社からの寄附金について

●袋井図書館長

一般社団法人勸農報徳社から、図書館蔵書の充実のために寄附をいただきましたので報告します。詳細は資料のとおり。

●鈴木教育長

報告事項については以上となります。

7 その他

連絡事項について、各課から配付資料のうち主なものについて説明

- ・ 「富士浅間宮本殿保存修理工事現場見学会」について
- ・ 「富士浅間宮修理記念展示会 袋井の文化財指定建造物展」について
- ・ 「浅羽佐喜太郎公碑建立100年特別展」について
- ・ 袋井市立図書館だより「ふくぶっく」平成30年7月号

8 閉会

(午後3時45分閉会)